

## 私の夏休み

夏休みも終わり、子供達は新学期がスタートしましたが、私の夏休みを今思い出すと、何をしても面倒で「暑いなあ〜」「何かいいことはないかなあ〜」と、何か楽しいことが起こるのを待って、グタグタと過ごしていた気がします。

そんな私ですから、夏にジョギングしている人などを見かけると、「この人は、何が悲しくて、こんな暑い中を走っているのだろうか?」と、理解に苦しんだものでした。しかし、そんな私が数年前にトライアスロンに出場してからは、会社と家との間をジョギングで往復するようになったのです。

初めは、試合で良い成績を出す為に、仕方なく走り始めたのですが、いつの間にか、コツコツ努力することに充実感を感じ、自分の人生を刻む楽しみがわかって来た気がするのです。

「人は、頭も、身体も、命も、物も、それを生かさないう限り、その価値を感じられない」と言いますが、それまで病気にでもならないとありがたみを感じなかった「健康」に対しても、走れば走るほどありがたみが増し、走れること自体に喜びを感じると共に、自分自身が大切に感じられるようになって来たのです。

そうしたことを知らなかった私は、「努力は大変なこと」とばかり思い込み、ずっと「楽」なことばかり求めて来たのです。しかし、実は「楽」を求めてばかりいると、更に色々なことが面倒になり、かえって人生がつまらなくなっていくのでした。

以前、ある先生から「人生というゲームを楽しむ3つの条件」として、1、ルールを守ること。

2、勝負(目的)に、こだわること。

3、結果に、こだわらないこと。

と教えていただいたことがあります。夢(目的)に向かって挑戦し、工夫や努力を積み重ねれば、積み重ねるほど、「夢が叶ったかどうか」という結果以上に、今の人生が充実し、そうして生きている自分のことが好きになっていくということが少しわかって来た気がします。

もし、皆さんの中に今の人生を楽しめないでいる人がいたなら、是非、身近なことの中に目的を見つけ、本気で挑戦することをお勧めします。「それが好きか?」ということより、本気でやってみようという面白くなって来るかもしれませんし、本気で挑戦しない人には、本当にしたいことが見えて来ないようです。

私は、「楽な人生」より、「楽しい人生」を生きていきたいと思っています。

## 思い出づくり

私は、ある意味「人生は、思い出づくりのようなものだ」と思っているのですが、意外に「思い出づくり」にこだわっている人は少ないようです。そこで8月の勉強会で「夏の思い出づくり」を課題に出してみました。

「結局、過ぎてみたら、今年の夏はこんな夏だった」というのではなく、「こんな夏にしよう!」と工夫して、自分で心に残る思い出を作ろうという課題です。

家族旅行一つとってみても、「思い出を作ろう!」と思って出掛けるのと、「ただいつものように家族と旅行する」とのでは、随分、家族とのかわり方も違って来るようです。

今回、ある方は奥さんと二人で富士山に登り、その時の写真をパネルにして部屋に飾ったそうです。また、「忙しくて家族と出掛ける時間がとれない」と言っていた経営者さんは、自宅の庭で子供とキャンプをして、一晩中話をしたと話してくれました。

私も、小学校3年の息子と二人でジョギングをしたところ、子供が「お父さんは、すごい!」と絵日記に書いてくれました。

子供達は、どんどん大きくなっていってしまいます。

この絵は、お金では買えない、私の生涯の宝物です。

## ☆お便りコーナー☆

「建設的な生き方を学ぶ会」ありがとうございます。また、「幸せの落ち穂拾い」というサブ・テーマでした。昨年、倒産により失業していた夫も、おかげさまで、この四月に再就職が決まり頑張ってくれているのですが、ボヤキも多く「男ならそんなこと言わないでよ!私だって頑張っているんだから」と、「私には否はない」と信じていた私にとって、落ち穂に気づかせて頂いたことは本当にありがたいことでした。慣れない仕事のうち、それをわからない妻、主人の疲れも大きかったと思います。

今回頂いたフィードバックを見ながら、生活に生かしていきたいと思えます。ありがとうございます。

お便りありがとうございます。  
「学ぶ会」以来、主人は仲間の皆さんの下さるお便りに「トイレ掃除の方が楽じゃ」と言いながらも、ありがたがって返事を書いています。「学ぶ会」から帰って、主人は少し違うのです。ガラス戸を洗ってくれたり、壁を掃いたり、本当に素直な人だと思いました。正に、今ある幸せ再発見です。耳の遠い母は、ほとんど聞こえていないのに、正座をして先生のビデオを見ています。

今回は「学ぶ会」に参加させていただきありがとうございます。私にこれまで、それなりに経営者としてやってきたつもりでしたが、川崎さん親子の姿を見て、これまでの自分を深く考えさせられました。お父さんが大きな体を丸くして、両手をついたままじっと頭を下げている姿や、息子さんがあれだけの人の前で両親に素直に頭を下げる姿を見て「私には出来ない」と思いました。

私はこれまで謙虚なフリを勉強してきた気がしますが、寡黙な川崎さんの愛の大きさに、誠実とは何か、謙虚とは何か、感謝とは何かを教えられた気がしました。

二日間お世話になりました。取への出迎えや、掃除の後の冷たいおしぼりの気遣いは本当に嬉しかったです。また、参加者一人一人のためのフィードバックにも心打たれましたが、何と云っても今回一番感動したのは、食事のおいしさでした。

普段の食事よりも質素なものでしたのに、静かに味わうとこんなにおいしいものなのかと驚かされました。皆さんが考えてお菓子もアルコールもなしにされたという思いがよく伝わって来ました。今も座禅の時の涼風が心地よく心に吹いています。

## 素敵な仲間たち!

山中湖に「安心サービス」という保険の代理店があります。そこは「こおろぎ97」でご紹介した天野毅男さんの経営する会社です。

「安心サービス」は、男性3人、女性2人の小さな会社ですが、山中湖にも行くことがあったら、是非、立ち寄ってみてください。

実は先日、私も友人と伺ったのですが、天野社長自ら車を出して地域を案内してくれ、楽しい時間を過ごして「安心サービス」に戻ると、雨で汚れていた私の車がきれいになっていたのです。

26歳の社員さんが、自主的に洗ってくれたそうなのです。それだけでもビックリなのに、事務所の中でしばらく話をして帰ろうと外に出ると、もう一人の社員さんが、また私の車を洗っているではありませんか!

彼曰く「後輩に先を越されたので、悔しいから俺はワックスまでかけてやろうと思ってる!」と笑いながらワックスをかけてくれています。

この会社の人達は、とにかく気持ちがいい人達なのです。全てがこの調子ですから、周りの人達からも応援される訳です。

私はこれまで、友達であっても、お金をくれたとしても、「こおろぎ」を宣伝に使おうと思ったことはありませんでしたが、今回は「保険のことなら安心サービスで」と自信をもって紹介したいと思います。もし保険の事でわからないことがあったら、気軽に相談してみてください。きっと喜んで教えてくれると思います。(フリーダイヤル0120-62-5186)